

《令和3年度 留学生能楽鑑賞教室を実施しました》

1. 日 時:令和3年10月21日(木) 18:00 ~ 20:30

2. 内 容:(1)能楽の解説

(2)狂言「口真似」および能「高砂」の鑑賞

※日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語の字幕付き

3. 会 場: 国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1)

4. 参加費:無料

5. 参加人数:15名

※中国:2名、韓国:2名、タイ:1名、モンゴル:1名、ウズベキスタン:1名、マレーシア:1名、
エクアドル:1名、ブラジル:1名、コロンビア:1名、南アフリカ:1名、本協会職員3名

6. 実施状況:

本事業は、国立能楽堂が実施する「外国人のための能楽鑑賞教室」を鑑賞するもので、外国人留学生12名を引率しました。

参加した留学生からは、「このような機会を得るために日本に来た」という声も聞かれ、満足している様子が見えられました。

また、コロナ禍で他者と関わる機会も少なく、このようなイベントは大変貴重であるとの声が多数上がりました。

日本文化を体感する場の提供のみならず、交流の場の提供にもなったことを嬉しく思いました。

7. 参加者の感想

- ・衣装が精巧で色鮮やかで素晴らしいと思った。能面も表現力豊かで時には威圧的でさえあった。
- ・古語が難しかったが、翻訳機の翻訳を見ながら理解することができた。
- ・想像を遥に超える面白さだった。
- ・伝統文化を維持する人々を尊敬する。
- ・能楽鑑賞は日本伝統芸能を外国人に紹介するのにとても良いと思う。
- ・外国人は日本の伝統文化に興味がある人が珍しくないと思うが、どうしたらそれらを体験できるか、どこから始めればいいのかわからない人が多いと思うので、このような企画はとても重要だと思う。
- ・様々な国の留学生に会えてとても嬉しかった。



集合写真